

あさひのたださすくに  
ゆうひのひでるくに  
朝日之直刺國、夕日之日照國

※「古事記」本文より



# 國學院大學 神道文化学部



オープンキャンパス 5月17日(日)、7月19日(日)、20日(祝)、8月22日(土)、23日(日)、9月20日(日)、10月25日(日)

(浜谷キャンパス)

# ★アイスブレイクで友達作り!

アイスブレイク 神道文化学部の「友達作り」作戦



アイスブレイクのゲーム

フレックスB(昼間主) 1年生  
遠藤暉子さん



私たちの学生生活は、入学当初の「アイスブレイク」で培われた「友情と絆」がベースになっている、ということを実感しています

「なかなか友達ができない」「人見知りが強ククラスに溶け込めない」…神道文化学部では、新生生のこうした悩みに応え、「友達作り」「仲間作り」のための「アイスブレイク」が行われています。私は、去年、新生生としてその行事に参加しました。明治神宮に正式参拝したあと、24のグループに分かれてグループワークがスタート。各グループとも、力を合わせ、知恵を出しあい、チームワークで「地図作り」を行いました。グループワーク終了後は、東京ドーム15個分の広さを持つ明治神宮の社を、グループごとにのんびりと散策しました。

私たちは入学当初のアイスブレイクで「人と繋がることの嬉しさ」「みんなと力をあわせることの喜び」を満喫しました。そのときに培われた友情と絆が、神道文化学部での学生生活のベースになっている、ということを実感しています。

# ★フレックス奨学金による経済的サポート!

(フレックスA・夜間主)



若木祭の神輿渡御にて

フレックスA(夜間主) 2年生  
春田華奈さん



フレックスA(夜間主)でフレックス奨学金の支給を受けながら学んでいます

私には姉妹がいるので、学費の負担をなるべく減らしたいと思い、フレックス奨学金制度のあるフレックスA(夜間主)に入学しました。昼間は神社で助勤、夜には大学で学修に勤しむ毎日です。おかげさまで経済的な不安を抱くことなく、学生生活を満喫しています。

大学には神道・宗教に関する多くの授業があり、神道文化や宗教文化を学ぶための基礎学力をしっかりと培うことができました。授業以外でも、祭式や雅楽を学ぶサークル「瑞玉會」に入り、日々研鑽に努めています。

経済的な不安を抱える志願者のみなさんに、本学夜間主でのフレックス奨学金を活用した学修を、ぜひとも奨めたいと思います。

## ◆ 國學院大學の奨学金制度

夜間主学生対象

返済不要

國學院大學フレックス特別給付奨学金 / 後期分授業料・施設設備費相当額支給\*

経済的理由による  
修学困難者対象

返済不要

國學院大學修学支援奨学金制度 / 40万円・30万円・15万円支給\*  
特例給費奨学金制度 / 上限50万円支給

\*応募者全員採用実績あり

2年生以上の  
成績優秀者対象

返済不要

國學院大學成績優秀者奨学制度 / 最優秀者は授業料相当額、優秀者は30万円もしくは15万円支給

神社界からの奨学金

神社本庁育英奨学金 / 30万円支給(2年生以上) ※条件あり

伏見稻荷大社奨学金 / 12万円支給

返済不要

全国敬神婦人連合会育英奨学金 / 15万円支給(女子学生のみ、2年生以上)

返済不要

## ◆ 学部神社実習生制度

学費・生活費不要。東京都内で神明奉仕

※男子学生のみ

実習神社(一部、平成26年度)

穴八幡宮、牛嶋神社、大國魂神社、大宮八幡宮、小野照崎神社、亀戸天神社、子安神社、浅間神社、鐵砲洲稲荷神社、東京大神宮、富岡八幡宮、日枝神社、明治神宮、靖國神社

実習生の主な奉職先(一部、平成23~26年度)

青森縣護國神社、仙台東照宮、笠間稲荷神社、茨城県神社庁、清瀧神社、井草八幡宮、金王八幡宮、東京大神宮、富岡八幡宮、鶴岡八幡宮、諏訪大社、三嶋大社、賀茂別雷神社、賀茂御祖神社、平安神宮、湊川神社、吉備津神社、太宰府天満宮、福岡縣護國神社

# ★ 導入教育で基礎学力作り→専門の演習でさらに深い学修へ

● 一貫した少人数の演習で親身な指導



藤本頼生准教授ゼミ

1年次

「神道文化基礎演習」



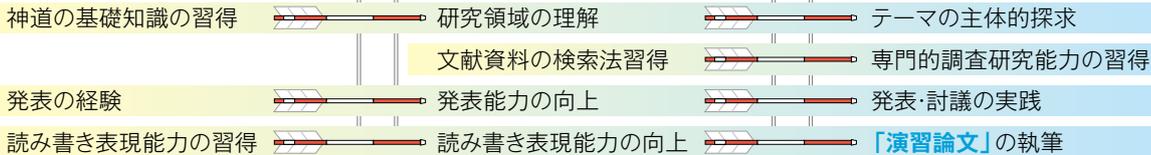
2年次

「神道文化演習」



3・4年次

【基幹演習】  
「神道学演習I・II」  
「宗教学演習I・II」  
「神道史学演習I・II」



成人加冠式にて

1・2年次



フレックスA(夜間主) 2年生  
三戸部 瞳さん



## 『世界の中の日本』を学んでいます

神道文化学部には神道・宗教に関する多くの授業があります。なかでも大切なのは、1年次の「神道文化基礎演習」、2年次の「神道文化演習」です。1年次の「神道文化基礎演習」では、少人数の学びで読み書き等の基礎学力をしっかりと培うことができました。2年次の「神道文化演習」では、専門的な調査研究の手法を修得し、3年次以降の本格的な学修に向けて「土台」を作り上げることができました。

私は入学前から、マスコミ関係の仕事をしたと思っていました。そのために、日本の宗教はもちろん、世界の宗教を幅広く勉強し、「世界の中の日本」「日本の良さ、ユニークさ」を再発見して、自分の将来に繋げていきたいと考えています。

茂木栄教授ゼミ



## 文化財保護のスキルを持った神職を目指します

私は、社家ではありませんが、神社や日本の伝統文化への憧れが昂じて、神道文化学部に入りました。フレックスA(夜間主)に在籍し、フレックス奨学金\*と神社の助勤で学費を賄いながら、神職課程の履修はもちろん、学芸員の資格課程も履修しました。

3年次以降の基幹演習では、茂木栄教授のゼミに入り、神社博物館の歴史とその特色を研究しています。

平成27年4月から、東京藝術大学大学院美術研究科に入学の予定です。神社社殿・神宝等のよりよい保存維持方法を研究し、神道文化財を守ることに力を尽くしていきたいと願っています。

\*奨学金の欄参照

3・4年次



フレックスA(夜間主) 4年生  
久保 直弘さん

武田秀章教授ゼミ

3・4年次



フレックスB(昼間主) 4年生  
篠葉 靖融さん



## 演習で培った熱意やスキルを、自分の進路にしっかりと活かすことができました

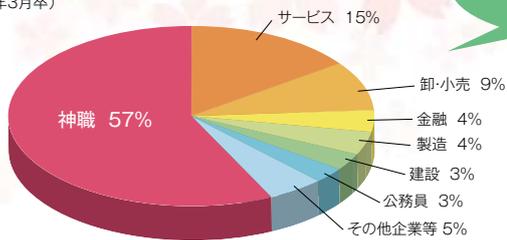


幼い頃から日本の神話や伝説に一方ならぬ興味を抱いていた私は、1年次の講読で『古事記』の神々の「八方破れ」ともいべき奔放さに触れ、3年次からの演習では、『古事記』の奥義をさらに窮めるべく、武田先生のゼミに入りました。演習は、自らの思いやアイデアを伝えるための熱意やスキルを培う機会でもあります。そうした熱意やスキルは、奉職活動において、しっかりと活かすことができました。社家出身ではない私が、信じられないことに首都圏の神社に内定をいただくことができたのです。「これから直面することになるであろう試練を、『古事記』の教えによって乗り越えていこう。須佐之男命のように、大国主神のように…」と覚悟を固めているところです。

# ★就職支援も充実!

## ●就職支援にも力を入れています

■神道文化学部業種等進路別比率グラフ  
(121期生 平成25年3月卒)



神職だけでは  
ありません

神道文化学部からは、神職や一般企業のほか、教員や公務員としての進路が開けています。就職支援の体制も充実していて、各種資格取得のためのサポートにも力を入れています。



## ●就職内定者の声



フレックスA(夜間主) 4年生  
須藤奨太さん

### 京セラグループ 内定



神道文化学部生であることが、  
就職活動でこの上ない「武器」となりました

神道文化学部に進学したのは、日本の偉大な経営者たちの宗教的・哲学的バックグラウンドを神道の観点から究めてみたいという思いからでした。可能であれば、自分もそうした経営哲学を受け継ぐ企業の一翼を担ってみたいと思い、就職活動ではその最先端を切り開いてきた大手企業に取ってチャレンジしました。

最後の役員面接では、「なぜ神道文化学部に入ったのか」「神道文化学部とはどんな学部なのか、何を学んだのか」といった質問を多く受けましたが、そうした問いのすべてに自分なりにしっかりと答えることができたのです。神道文化学部の学生であることが「ウイークポイント」になるどころか、まさに切札的な「セールスポイント」になったのです。神道文化学部は、全国でただひとつ、オンリー・ワンの学部です。そのことに誇りを持って、学部での学びを堂々とアピールすれば、必ずや良い結果がもたらされるでしょう。

### 静岡市役所 内定



神道文化学部において、全力投球で学修・実習に  
勤しんだこと自体が、就職内定の決め手になりました

私は3年次の半ば頃から卒業後の目標を公務員に絞り込み、受験準備を進めました。公務員試験の最大の関門は筆記試験です。静岡市役所の試験では、あらゆる分野にまたがる55題の問題が出題されました。実にハードな試験でしたが、おかげさまで合格通知を受け取ることができました。

面接の自己アピールでは、神道文化学部の学生であることのアドバンテージを積極的にアピールしました。御社頭で、地域の方々と協力しながら祭りを盛り上げていった経験。地域の方々と心を通い合わせた感動的な体験の数々。とりわけ富士山頂上浅間大社奥宮での宿直奉仕の体験談は、面接官の方々から、格別の関心を寄せていただきました。神道文化学部の学生であることのメリットを積極的にアピールしたこと、さらに言えば神道文化学部で全力投球で学修・実習に勤しんだこと自体が、就職内定の決め手になったと思っています。



フレックスB(昼間主) 4年生  
石原祐生さん

### パナホーム株式会社 内定



「この企業こそ!」と思った会社に、  
真っ向からチャレンジを試みました

就職活動を前にして、「何を一生の仕事にしたいのか」ということを熟考しました。やがて、「家作りに関わる仕事に従事したい」との思いが強くなりました。次の段階として「日本の家作りにおいて、もっとも家らしい家、最も安心な家を提供している企業はどこなのか」ということを自分なりにリサーチしました。さまざまな企業の住宅展示場を巡り歩き、販売担当の方々から色々な話をうかがいました。そうした見聞を踏まえ、最終的には自分が「この企業こそ!」と思った会社に、真っ向からチャレンジを試みたのです。

最終面接に至るまで、多くの関門を経て、採用内定の通知をいただくことができました。入社後の仕事は営業です。お客様のご希望をうかがって設計部門・建築部門との仲立ちを行い、さらに資金計画のお手伝いもします。入社後の研修でしっかりと研鑽を積み、一刻も早く現場に出て、お客様と向き合っていきたいと思っています。



フレックスA(夜間主) 4年生  
上田祥吾さん



フレックスB  
(昼間主) 4年生  
中野珠生さん



大好きなフラメンコを  
踊る中野さん

## 株式会社タカオ・アソシエイツ 内定

### 本学で得た有難い御縁が、 就職内定に繋がりました

実家が江東区の亀戸天神社の氏子で、幼い頃からお祭りでお神輿を担いできた私は、「ずっと親しんできた神道について本格的に学びたい」と考え、神道文化学部に進学しました。入学以来、大学の「学生アドバイザー」を務め、オープンキャンパス等で本学を訪れた高校生に心をこめた「おもてなし」をしてきました。ある日、本学の事務職員で学生アドバイザーの先輩でもある方から、広報支援を行っている会社でのアルバイトを紹介いただきました。その会社でお手伝いを始めてから約1か月後、社員の方から「当社への入社試験を受けてみませんか」とのお誘いをいただき、幸いなことに内定をいただくことができました。

思えば、初年次以来、「学生アドバイザー」の仕事に一生懸命取り組んだことが、期せずして就職内定の結果をもたらしてくれたのだ、と実感しています。

※学年は取材時のものです

### 一般子女から女子神職に!

### 川越氷川神社 出仕

### ずっと神職に憧れてきました。 女子神職としてのご奉仕ができませんでした

地元の神社のお囃子のメンバーになるなど、小さい頃から神社の祭りに親しんできた私にとって、神道や日本の伝統文化を専門的に学べる神道文化学部への進学は、ごく自然な選択だったのです。

入学後は貴重な経験の連続でした。1年次の武田先生の「古典講読1」では『古事記』の神々の躍動に心底圧倒されました。2年次の明治神宮での実習では夜間の大前での大祓詞奏上に深い感銘を受けました。3年次は山形県の出羽三山神社で、大自然の山懐に抱かれながら実習させていただきました。4年次の伊勢の神宮での実習では、神話そのままの神宮の佇まいにとても感動しました。

おかげさまで、地元の名社、川越氷川神社に奉職させていただくことができました。神道文化学部での学修を活かし、女子神職としてご奉仕に勤んでいきたいと願っています。



川越氷川神社で



神社への奉職  
押田美沙紀さん

## ★ 神道文化学部独自の就職支援講座(無料)



和歌講座

新進気鋭の歌人、田中章義氏(第36回角川短歌賞受賞)による和歌の作成指導。



書道講座

本学書道専任教員の指導による、神社での社頭実務にも役立つ実用習字の練習。



マナー講座

将来、神職としてだけでなく、社会人としても必要となる礼儀作法や種々のマナーについて学べる講座も開催。

# ★ 神道文化学部の年中行事



神話「稲羽(いなば)の素戔(しろうさぎ)」をモチーフにデザインされた國學院大学のマスコット「こくびよん」です。

神道文化学部では、四季折々の年中行事が雅やかに行われています。本学の風物詩、1月の成人加冠式、10月の観月祭を担う学部学生のメッセージをお伝えします。

## 観月祭を担う神道文化学部生の声



フレックスB(昼間主) 3年生  
大丸 美鈴さん



## 観月祭での経験は、今後の私の人生の中で、大切な宝となってゆくことでしょう

私は昨年10月に行われた観月祭で、五常楽の舞人として参加しました。

子供の頃からモダンバレエを習っていたこともあり、私は昔から「舞」に興味を抱いてきました。2年生の時、初めて観月祭に奉仕して、「自分もぜひこの舞台上で舞ってみたい」という思いが強まったのです。稽古が始まった当初は、拍の取り方や独特の動きに馴染めず、とても苦労しましたが、先生方や先輩にアドバイスをいただきながら、なんとか形が描けるようになりました。

多くの方々から「男性の中で、女性一人だけ。さぞ大変だったでしょうね」と言われます。けれども、そのように感じたことは一度もありませんでした。先輩や同期の舞人に恵まれ、助けてもらったからこそ、本番で自分のベストを尽くせたのだと実感しています。今回の観月祭では、本当に様々なことを学ばせていただきました。観月祭での経験は、今後の私の人生の中で、大切な宝となってゆくことでしょう。

## 大人への入り口 成人加冠式—日本古来の雅やかな成人儀礼



フレックスB  
(昼間主) 2年生  
陳 保吉さん

## 成人加冠式を担う神道文化学部生の声



フレックスA  
(夜間主) 4年生  
藤原 瑛月名さん

## 今回の加冠式における経験を糧として、これからも神道の学修に邁進していきたいと思ひます

私の故郷は台湾です。「どうしても日本の神道を学びたい」という思いに駆られ、初志を貫いて神道文化学部に入學しました。神道の日々の学修は、私にとって発見と感動の連続です。

2年次の1月、私は大學恒例の成人加冠式に、新成人として参列しました。成人加冠式は、神道という「日本人の叡智」から培われた雅やかな祭儀です。「このような素晴らしい儀式を通じて成人となることができた自分は、何と恵まれているのだろう…」。そんな思いを、心から噛みしめています。

今回の加冠式における経験を糧として、これからも神道の学修に邁進していきたいと願っています。

## 神道文化学部に入學して、古式ゆかしい行事を、一緒に担ってみませんか？

成人加冠式は、神道文化学部はじめ本學の學生のボランティアが、その運営に関わっています。私は、祭式サークル「禮法研究會」の一員として、加冠の儀の介添えと、神殿参拜の先導を務めました。おかげさまで、晴れの儀式の大役を無事務めることができました。

神道文化学部では、学部の學生を担い手として、成人加冠式をはじめ四季折々の行事が季節感豊かに行われています。

志願者のみなさん、神道文化学部に入學して、こうした古式ゆかしい行事を、一緒に担ってみませんか。皆さん方の入學を、心からお待ちしています。

※学年は取材時のものです

## 学部長メッセージ



### 神道文化学部 入學のすすめ

神道文化学部長  
武田 秀章

神道文化学部は、本學「建學の精神」を体して日本の伝統を省み、世界に心を開いた「日本人らしい日本人」を育むことを目指しています。まずは授業開始に先立つ「楽しい入口」としてのアイスブレイク(友達づくり)に始まり、1年次の基礎演習から3・4年次の専門演習まで、一貫した少人数の演習が用意されています。

國學者の本居宣長は、師の賀茂真淵と出会い、自らのライフワーク「古事記」研究に目覚めました。学部教員一同、神道文化学部が、みなさんのその後の人生に繋がる大切な「出会いの場」となることを願っています。